



# しののめYMCAこども園

## 園だより

2018年度2月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

2月聖句 「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」

ローマの信徒への手紙 12章 15節

3学期はまとめの時期であり、進級や進学に備えて『力』を蓄える学期であると捉えております。では、その『力』とは何か……。それは自分に『自信』を持っていること、または『自信』を持つことだと思います。何かひとつ好きなことや興味のある事を見つけて、一生懸命に取り組んで、出来る事がさらに上手になること、また、新しい事やこれまで出来なかった事に挑戦してみることも自信に繋がります。その一つひとつが子どもたちの『力』になると考えています。『力』を蓄えるために、どのような手段や方法で導き、気づかせ、達成させていくのかを、私たち大人は十分に配慮し、また注意深く見守っていく必要があると感じています。

子どもたちは、日常保育や家庭生活のなかで、様々な気づきや学びを繰り返しながら、日々成長をしています。その成長はとてもゆっくりで、穏やかなものであります。

私たちの成長速度は、身長・体重・筋肉・骨格のように年令と共に成長するものもあれば、神経や感覚器系のように、一気に成長するものも有ります。「どうして出来ないのか?」「どうしてわからないのか?」と感じる事が日々の生活の中で有るかもしれません。然しながら、それは成長の過程であり、心と体の成長が一致していないことが要因かもしれません。

『自信』を持たせる、また付けさせるには、この成長の過程を大人が理解しなくてはならないと思います。私たちの価値観や経験、また他者との関係の中だけで、過度の期待や夢を託し、『自信』を持たせよう、付けさせようと言う方法や導きをしてはならないと思っております。

私たちに必要なことは、成長過程をしっかりと理解しつつ、子どもの気持ちを活かしながら、『期待』や『夢』の詰まった荷物を背負わせて行くことだと思います。

決して無理せず、進級・進学に備えて『自信』を持たせることの出来る「荷物」を背負わしていきたいと感じております。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

園長 堀江 和広